

令和4年度

全国学力・学習状況調査の結果について

(令和4年4月19日 小学校6年生対象 国語科・算数科・理科・質問紙調査を実施)

1 国語科・算数科・理科の結果分析

- (1) 国語科では、学習指導要領の内容の「話すこと・聞くこと」に関して、十分満足できる状況である。一方、「書くこと」に関して、「文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること」、「読むこと」に関して「登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述をもとに捉えること」、「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、「話し言葉と書き言葉との違いを理解すること」「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと」等に課題が見られた。
- (2) 算数科では、学習指導要領の領域の「図形」「変化と関係」に関して、十分満足できる状況であり、「データ活用」に関して、ほぼ満足できる状況である。定着が不十分だった内容としては、「数と計算」に関して、「示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できること」等が挙げられる。
- (3) 理科では、学習指導要領の領域の「粒子」「生命」「地球」に関しては、十分満足できる状況である。「エネルギー」の領域に関して、「知識を次の学習や生活などに生かすことができること」に課題が見られた。

2 児童質問紙調査結果についての考察

- (1) 肯定的な意見が全国平均を上回っていたもの
 - 学校に行くのは楽しい。
 - 読書は好きである。
 - 自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある。
 - 学校で、授業中に自分で調べる場面や学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を週3回以上使っている。
- (2) 肯定的な意見が全国平均を下回っていたもの
 - 自分には、よいところがある。
 - 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
 - 家で自分で計画を立てて勉強をしている。

3 今後の改善点や取組

- (1) 国語
 - ①文章や図表の読み取りについては、要点や重要な部分等にアンダーラインを引いたり、丸や四角で囲むなどして、何が書かれているかを的確に捉えるようにする。
 - ②書くことについては、どの教科においても、自分の思いや考えを書く場面を増やす。また、根拠や理由を明確にして書くこと、高学年では理由を複数あげて書くことも指導する。さらに、振り返りの時間を確保し、分かったことを自分の言葉で書きまとめ共有できるよう指導していく。
 - ③自分の思いや考えを深めるために、スピーチやペア学習、グループでの話し合い等を工夫し、ICT機器を活用した協働学習をさらに進め、比べ合い、高め合う交流場面を増やす。
- (2) 算数
 - ①数と計算については、学習したことを生かし、具体的な日常生活の場面に対応させながら、問題場面の数量の関係に着目し、数の処理の仕方を考える学習を積極的に取り入れる。
- (3) 理科
 - ①習得した知識を次の学習や生活などに生かすことができるように、意識の持続と学習内容の活用を意図した授業改善を進める。
- (4) その他
 - ①家庭と連携し、全教育活動を通じて自己有用感の涵養を目指す。
 - ②引き続き「徳島県CD版学習ガイド」のワークシート、「徳島県学力向上確認プリント」の活用を進めていく。また、国語力向上タスクフォースの提言に基づく授業づくりを進める。
 - ③タブレットのAI学習ソフトを積極的に活用し、学びの個別最適化を進める。
 - ④家庭学習習慣の育成について、手引きをもとに支援の仕方を工夫する。